音樂新聞

（本號に限り一部二錢）
一部三錢（一月一回發行）送料二錢
六ケ月　三〇錢　送料共
一ケ年　五五錢　送料共
發行所　東京市外上落合四六〇
日本プロレタリア音樂家同盟內
音樂新聞編輯局
同所
發行編輯印刷人　露木次男

プロレタリア音樂は
誰の手で作られるか
勞働者農民は音樂家同盟にはいれ

我々は今日どんな音樂を與へられて居るか、どんな音樂が我々をとりまいてゐるだらうか。目前の事實は次のやうである。

第一に、ラヂオや樂隊で軍歌の狂はしい音響が我々をとりまいて居る。少年團が太鼓をたゝいて出征兵士を送りだしてゐる。三勇士の歌であらゆる詩人と作曲家が夢中になつて居る。あらゆる一流の音樂家達が上海や滿洲に出征した兵士の慰問のために歌つてゐる。それでなければ、丘をこえてとか酒は涙か ため息だとか、卑俗な流行歌のこう水だ。階級社會における音樂が支配者の政治的支配の前提であり、勞働者農民勤勞大衆を眠りこますための外の何物でもないといふ事が今日ほどはつきり暴露された事はない。我々は軍歌や反動音樂家たちの欺瞞的な音樂に新しい音樂の建設を見る事は出來ない。彼等の音樂は亡びて行くブルジョアジーの最後のあがきだ

戰爭は擧國一致の名をもつて勞働強化を強ひられてゐる、勞働者や三百萬に近い失業者群、又は高率搾取によつて、又戰場に働き手をうばはれ、餓死の外ない貧農のためでなく、自己の經濟的危機を切り拔けるための資本家地主の今日の政策である事はいふまでもない其ための肉彈の挽歌が勞働者及農民のものでない事は明白である。

新しい音樂は何處から生れるかいふまでもなくこの様な反動的支配を破壞することによつて社會的建設を使命づけられてゐるプロレタリアートの手によつてゞある。

音樂新聞讀者諸君！

新しい音樂の建設は文化的建設の使命を失つた反動音樂家の手から我々の手に移つてゐる。ブルジョア音樂は亡び、勞働者農民の新しい音樂がめばえてゐる同盟は

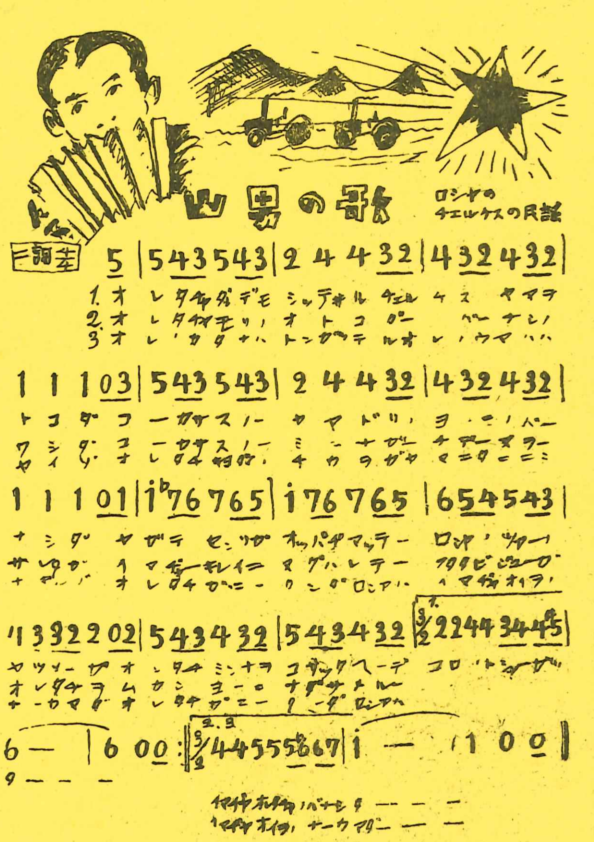
諸君は與へられる事を待つてゐてはならない。諸君自身が建設者なのだ。汗と血に塗れた生活の歌を歌ひ上よ。生活を守る戰ひの歌を歌ひあげよ。我々の歌聲によつて企業農村からの力強い歌聲によつて軍歌や欺瞞的な音樂を壓倒せよ彼等の肉彈の挽歌を沈默せしめよ諸君！

日本プロレタリア音樂家同盟は日本に於ける唯一のプロレタリア音樂建設者である。音樂家同盟はプロレタリアートの歌を作りその歌をプロレタリアートの歌ひ方でうたい、オーケストラで奏し、ハーモニカで合せ、勞働者農民の戰ひの歌を指導する團體だ。

音樂家同盟は諸君の團體である。すでにのべた様に我々の音樂は與へられた音樂ではなく、自ら作り出す音樂である。諸君は同盟によつてあたへられる事を待つのでなく、自ら同盟にはいるべきである

同盟は諸君の團體である。同盟を強くする事も、新しい音樂を建設する事もすべて諸君の手によつてのみ可能なのだ。諸君は同盟と手を結んで職場の中に合唱團を作れバンドをつくれ。ハーモニカ隊をつくれ。音樂愛好者の會をつくれ。諸君は音樂家同盟には入れ。諸君は、仕事場の中での文化、音樂建設の先驅者でなければならない。

同盟には入る手續き—
住所、本名と、聲樂か、器樂か、作曲か自分のやりたいものを書いて、くわしい履歴書を添へて送つてくれ
送り先—日本プロレタリア音樂家同盟



此の歌はロシヤ・チエルケスの民謡で、素朴で男性的な民族色彩を持つてゐるもので、リズミカルに力強く歌はれる。今度の音樂會では、照井榮三君（バリトン）が歌ふことになつてゐる。

三月廿六・七日は—俺達の音樂會だ！
工場から職場から學校から
築地小劇場に押しかけろ！

日本プロレタリア音樂家同盟の第四回大音樂會が迫つた。

世は擧つて反動時代だ。街には反動音樂が充ち〱てゐる。蓄音機屋のレコード、ラヂオ屋の擴聲機が、醜惡な聲をハリ上げて俺達勞働者農民の血の氣持を欺くための歌を歌つてゐる。曰く滿洲行進曲曰く守れ滿蒙、そしてまた爆彈三勇士の歌。勞働者農民諸君俺達は俺達自身の歌で以つて、之等の歌を打破らねばならない。諸君は第四回音樂會のプログラムを見たゞけでこの音樂會が今云つたその目的のためにどんなに大きな役前を果す事か出來るかを知るであらう

そこで歌はれる俺達自身の歌は反動音樂が俺達を欺き俺達を間違つた方向へ驅り立てるのとは反對に苦しい生活の底に壓迫せられた俺達勞働者農民に、正しい潑剌とした勇氣を與へ、我々に、固い鐵の様な團結を促す歌である。それからまた、俺達日本の勞働者農民と同じ様に同じ目的の爲に勇敢な戰ひを續けてゐるドイツ、フランス等の、勇ましい鬪爭歌もある。更に、新しい建設の國ソヴエート・ロシアの勞働者農民の、明るい元氣に充ちた歌もある。

諸君、仲間を誘ひ合つて、腕を組んで來い。二日四回を通じて、會場に溢れる迄にヒシ〱と押しかけろ。大衆の力で、この大切な音樂會を敵から守れ。そして、單に音樂を聞くだけでなく、舞臺の上の歌手と一緒に歌へ、歌つて覺えやう。覺えた歌を自分達の職場で宣傳しろ。

笛吹けども大衆は踊らず
滿洲行進曲と爆彈三勇士

レコードにラヂオに音樂會に、戸迷ふた樂壇人が總動員されて物々しく宣傳されてゐるものに滿洲行進曲爆彈三勇士守れ滿蒙生命線等がある。

世を擧げて戰爭だ、そして今度ばかりは正義の戰爭だ。

このことを宣傳するために奴等は全文化機關を動員してゐる。そして、音樂による煽動がいかに大衆の欺瞞に直接的な効果を持つかを知つてゐる奴等は、封間藝術家共を總動員して凡ゆる利器を通じ民衆を痲睡させることに狂奔してゐるのだ。

が如何なる錯覺か、滿洲行進曲の正體が 日清戰爭當時 の流行歌『靑島節』の拙劣な粉飾に過ぎないことを民衆は氣付かないとでも奴等は思つたのか。あれを聽いた者は多分明治末期の鈍駿な文化の中に押し戻された様な氣がしたことだらう。それ以上に老ひ朽ちたブルジョア文化の淺ましい曝露をみせつけられるのだ。與謝野寬作る所の一等當選 勇士の歌、これは陸軍戸山學校の作曲？で發表された。大正四年頃店頭に出た日本軍歌集を讀んだ者にはあの歌曲が何か直に氣がつく筈だ。殊に原作の歌詞、命令を受けて、三勇士がはいと答えて云々が發表されるに當つて、三勇士が自發的に志願して出たもの丶如く改作されてゐる等、實に奴等の拔目なさを表明してゐる。續いて山田耕作作る所の三勇士、豪放に悲壯に歌ふと註されてゐるものが發表されたが無力陳腐な短調で呻く様に歌はれるものだ。一體これらのもの丶どこに建設的エネルギーの響きがあるか。大衆の聲の片鱗だに反映されてゐるものがあるか。全國民の名を騙る奴等の劣惡な文化政策に煽されてはならぬ！プロレタリヤートは正しい健康なプロレタリアの歌を歌へ！

小歌劇『建設』に就て
關　鑑子

世界の資本家地主共よソビエートの輝しき社會主義建設を勞農大衆に眞實に知られる事を恐れあらゆるデマを飛ばしてゐる、特に日本の資本家地主共は中國の勞働者、農民の革命的昂揚を（支那のブル共と結托して）絞殺しつゝある。滿洲の完全な隷屬化を土臺としてソビエート攻擊を謀んでゐる、何故？ソビエートは勞働者農民の國、搾取のない國世界のブル共にとつては都合の悪い國だからだ。ソビエートがどんなに素張らしい社會主義的發展をなしつゝあるかは、讀者諸君は充分知つてゐるに違ひない、所謂五ケ年計畫の生産高は四ケ年で遂行された、世界中の資本主義國か經濟的行き詰りの時（勞働者、農民の生活低下一層の搾取強化）たゞソビエートだけが勞働者、農民の生活を向上出來るのだ、勿論文化的方面にだてゝ着々と向上し、文盲退治、其他あらゆる文化的施設は勞働者、農民自身の手でやられて居る。斯の如く社會主義經濟發展の土臺の上に築れた、勞働者、農民の文化（音樂）を我々（P、M）が日本の勞農大衆諸君に紹介することは名譽ある仕事であるし、勞農大衆諸君の唯一の音樂家同盟である、PMの當然なすべき仕事である。此の事はドイツ或はアメリカ、ポーランドのプロレタリアートの歌の紹介より以上に意義ある事だなぜか、勞働者、農民の祖國ソビエートのものだからである此の仕事は今後チャンヂャンやるが、勞農大衆諸君の積極的參加なくしては出來得ない事だ、プロレタリア音樂建設の仕事は勞農大衆諸君の肩にかゝつて居るのだと云ふ事を特に訴へる。（編輯局）

『建設』は一個の家が出來上るまでの勞働を一つ一つ取り上げて家といふものはこんな風にして出來上つたものだといふ事を教へると同時に勞働者の子として此喜び誇りを歌つた童謠集です。（尤も勞働を喜びとして歌ふ事が出來るのは搾取なき勞働者の國ソヴイエツトロシアだからこそですが）

詩はソヴイエツトロシヤのヤ、メクシイナの作であり曲は同じくソヴイエツトロシアの童謠作曲家アナトーリ、アレキサンドロフの作です、ソヴイエツトロシアの童謠は此様に勞働に關するものや、子供の衞生に關するもの、氣象に關するもの動植物に關するもの等がありますがそれ等は總て社會主義的建設に結びついて生産されてゐます。

さてプロレタリア音樂家同盟では三月二十六七日の第四回音樂會に此童謠集『建設』を演奏するに當つて單に童謠として歌ふ丈でなく簡單な扮裝身振り裝置を加へて唱歌劇の形式に紹介します。

先づ舞臺が明くと『土工』が地ならしをしながら歌つてゐる、エンサヤレコラのかけ聲で汗を流してゐる、次が『石工』でバラスをしきこんだりセメンを流したりして家の土臺を作る、一分の狂いもなく正確にやれ、第三は大工、第四は屋根や、共に樂しんで働いて歌ふ。第五『ペンキや』、鐵も木の片もペンキを塗れば腐しよくを防ぐし。ながもちがすると云つてゐる。第六『指物師』雨戸や窓を作るのが指物師の役だ『しつ喰や』が第七、これはシュルカといふ息子に手傳はしてゐる。これが親爺の後つぎだ。第八『ガラスヤ』先づ伴奏がガラスが日に輝いてキラ〱してゐる所を表してゐる。ガラスを切るのは小さいダイヤだといふ事止めるものはパテだといふ事を教へてゐる。次は第九『水道屋』井戸の不便さと水道の便利をくらべてゐる。こゝでもメートルを持ち出して機械の正確さを歌つてゐる。第十『電氣屋』が來て家は出來上つた、一寸ひねればすぎ灯はつくしベルもなる。そこへ（第十一）最後子供が飛び出して來て次の歌を歌ふ。

父さんや兄さんの腕でこしらへたこの家に住む少年われ等
我等は未來の建設の家の熟練工だ、十月の子だ
いざ進めよ、足なみ揃へて
旗をかざして十月の子よ

更にこれを勞働者一同で合唱して幕は下りる。我々はこの新しい試みを現在益々ひどくなる搾取に苦しむ勞働者諸君に見て貰ふ事に大きな意義を感じてゐます。諸君がこの小さい唱歌劇の中からソヴイエツトロシアの明かな愉快な勞働と、更に又日本の變に大人びた、ゆがめられた反動的な童謠と比較して建設のロシアがどんなに少年の健康な教育に力を注いでゐるかといふ事とを知つて頂きたいと思つてゐます。以上

プログラム

一、管絃樂　インターナショナル
二、二部合唱　働く婦人の歌
三、二部合唱　萬國のプロレタリヤ團結せよ！
四、四部合唱（イ）愛する大陸よ
　（ロ）ワルシャワンカ
五、獨唱　關　鑑子
六、合唱　青年の歌
休憩
七、小歌劇　建設
休憩
八、ハーモニカ合奏
　編曲　憎しみのるつぼ、團結の力、トールド・フオレーツン、俺はかぢや
九、合唱　（イ）ブヂョンヌイ
　（ロ）赤衛軍の歌
　（ハ）手を組んで來い
十、管絃樂　鬪爭歌編曲
　新作行進曲
十一、獨唱　山男　照井榮三
十二、合唱　曉は近づく、メーデー近づく
十三、管絃樂インターナショナル
閉會

音新讀者は通信員になれ

音樂新聞讀者諸君！

音樂新聞は諸君のものだ。諸君によつて音樂新聞は編輯される義務がある、なぜかなら音樂新聞はプロレタリア音樂建設の開拓者である、反動音樂の撲滅者であるからだ、そして諸君は仕事場の中の文化的先驅者だからだ。工場から農村から兵營から、その外あらゆる職場から諸君の生々した通信を送れ。諸君の周圍ではどんな歌がうたはれてゐるか、諸君の仲間たちはどんな歌をのぞんで居るかを書いて送れ、ハンマーをにぎり、鍬をかついで元氣に歌つてゐるすがたを、諸君が如何に資本家地主に鬪つてゐるかを書いて送れ、こうして我々は全國の兄弟達が互の生活を知り合ひ手を結び合ふための結び目になつて行かう、諸君はみんな音樂新聞の通信員になつてくれ、申込はカンタンだ。

通信員申込規定。

音樂新聞讀者は總て通信員の資格を有す。住所、本名、職場を明記して紙上名（ペンネーム）をそへて編輯局に送れ。

編輯局。

新『メーデー歌』を俺達もつくらう

俺達の心臓で俺達の勝利を歌へ！

俺達勞働者の威力を示す日萬國プロレタリヤートが一齊に立ち上る日、メーデーが來る。今年のメーデーこそは、俺達の眞の要求を掲げ、ひるむことなき決意をもつて闘い拔こう、パンと仕事、自由と土地を與へよ…萬國の勞働者團結せよ！下からの戰線統一！帝國主義戰爭反對！ファシズム反對！ソヴエートロシア、ソヴエート支那を守れ！資本家地主の政府を倒し、勞働者農民の×××れ！これこそ俺達の眞の要求だ、決意だ！さあ！隊伍を集結してブルジョア階級に抗する日、メーデーを闘ひ拔こう！

そしてこの闘爭を歌ひ、俺達の決定的勝利を歌ふメーデー歌を聲高らかに歌はふ！だが俺達は今まで眞の意味でのプロレタリヤの勝利を歌つたメーデー歌を持つてゐなかつた、『聞け萬國の勞働者、とゞろき渡る……』『汝の部署を放棄せよ！』『正義の手もてとりかへせ！』『無産の民よけつきせよ！』

歌ひつゝも歌ひ終つても、俺達の胸にピンと觸れてこないのだ。なぜだらう？第一にこの歌のもんくも曲もいまの俺達勞働者農民の目のつけどころ、氣持感情を正しく表してゐないからだ。第二に、曲は諸君も知つてるやうに『アムール河』の曲だ、歌ひ易くおだやかな動きはあるが少しも闘爭的でない、死をも恐れぬ闘爭の決意是非ともこの感情を出さなければ俺達の氣持を高めるものではない。それに歌のもんくが、已に人道主義的であり、第三者的であり、鋭い階級對階級の見地にたたず、俺達の眞の勝利のための闘爭をどうしたらいゝかも表されてゐないし未來を建設することも歌はれてゐない。更に物足らないのは俺達の祖國ソヴエートロシアを守れといふこともない。全體にピンと觸れて來ないばかりでなく、却て不愉快になり歌ふことがいやになるばかりでなく、この歌は、俺達の革命的なたかまりを寧ろ後方へ押しやるものであり、結局、俺達の眞の闘爭の前進を押さへつけようとする反動的役割を持つのだ。

けれども、今迄それに代る歌がない。やむなくこの歌を歌つてゐたといふ目過出來ないことになつてゐるのだ。

で、どうでもこうでも、今年こそは、俺達で俺達の歌をつくらなければならぬ。そこで、文化聯盟では『新メーデー歌』の募集をしてゐる。俺達の歌を曲をどしどしと、すばらしいやつをつくり上げて、今年からのメーデー闘爭を、鼓舞し昂揚するといふすばらしい仕事をやつてのけよう。

歌詞でも、曲でもどし〳〵作つて送れ！
行進曲風な調子で最も大衆的に歌へるものがいゝ！
送り先　東京市外上戸塚七四三
プロレタリヤ音樂家同盟

（寫眞はベルリンのメーデー）

勞農通信

大衆黨の歌曲集に就て

片山銳一

親愛なる勞働者農民大衆諸君！プロレタリア紀念日が近づいたぞ。一九二八年三月十五日を俺達は大衆行動で戰はなければならない。闘爭歌曲の練習は出來てゐるか。以下大衆黨事業部から三一年五月二三日發行の『プロレタリア歌集』中の下手な欺瞞を二つ三つ並べてみよう。

『メーデー歌』中の『守れメーデー勞働者』を大衆黨の大ダラ小ダラ共は『守れ全勞々働者』と歌へ歌はせてゐる。社民のダラ共も『守れ社民（睡眠と聞く）の勞働者』と云ふ風に歌はせてゐる。見ろ！表紙でさへメーデーの葬式行列だ。それから又萬國の勞働者農民被搾取大衆の血汐を極度に湧かせてゐる『インタナショナル』中の『インタナショナル我等がもの』を歌へる時ダラ共はインチキ曲目解說をやり此の歌は『第二インタナショナルの歌だ』とホザくのだ。此の歌が奴等の言ふ樣な歌なら奴等の爲には却て歌つて貰つた方がいいのだらうが官犬と奴等はダルになつて音樂家同盟の人々にも俺達にも事實歌はせまいとして死者狂ひになつてゐるではないか。何故か？それは俺達大衆が奴等の指導を乘り越えて正しい方向に前進するからだ。俺達の『インター』は決して『第二インター』ではないのだ。次ぎに『赤旗の歌』や『俺は鮮治や』を載せてゐるがこれ等は大衆黨が××黨と同じ階級的立場を持してゐるかに見せかける爲の下手な欺瞞方法なのだ。だが奴等の期待に反するものを結果してゐるのだ。次に『ワルシャワ勞働者の歌』の歌詞は戰旗の創刊號からでも合法的に盜載したのか？PMでは一部分を改作してゐるのにお氣附ない樣だ。次に『三・一五の歌』の中で『勞働者農民は××黨を守る』を『大衆黨を守る』と敵へ歌はせる。是では××黨の爲に虐殺された渡政や白色テロルに倒れた山宣は退守黨の爲にでも倒れたかの樣な印象を意識の低い勞働者農民大衆諸君に與へるかも知れないが事實は斷じて否である。此の樣な小細工をして迄も奴等は大衆の革命化を引止めようとしてゐるのだ。

樂壇は急激にファッショ化しつゝある。俺達は此の方面に於ける立遲れを日本プロレタリア音樂家同盟の指導の下に最も速かに克服しなければならないのだ。

ソヴエート同盟の音樂サークルの話

中條百合子

この頃、日本でもあつちこつちで文化サークルや音樂サークルが出來てプロレタリヤ文化の高まりがわかり、實に愉快です。ソヴエート同盟は御承知の通り勞働者の勝利した國だからさう云ふ音樂サークルなどでものび〳〵と至極便利にやつてゐる。勞働者クラブには大低のところに音樂サークルがある。室を一つちやんと持て、ドアをあけて入つて見ると、譜面臺がいくつも壁ぎはにたつてゐる。太鼓、笛、トロンボーン、ギター バラライカ、などが片づけてある。音樂サークルは五日に一遍とか日をきめて音樂學校からの指導者をまねき、なか〳〵熱心に勉强します。春になつて寒いモスクワの公園の樹々が綠になると、あつちこつちの音樂堂で、盛んに音樂がやられる。どんな連中が演奏してゐるかと見ると、鳥打帽をかぶつたまゝの勞働者音樂團です。

メーデーのデモには、各工場が自分たちの音樂團を先頭に立て、勇ましい行進曲とゝもにやつて來る。見事な、胸のすく思ひです。音樂サークルの種類は合唱、ハーモニカ、ギター、ブラスバンドなどが多い。管絃樂は少ない。ヴヰオリン、セロと云ふ樣なごく長い習練のいるものはどうしてもサークルにはより少くとり入れられるわけです。

ピオニールはピオニールで又自分たちの樂隊を持つてゐる。われ〳〵も一日も早く自分たちの音樂によつてメーデーのデモをやりたいものだ。（完）

音樂新聞

三百圓基金カンパに應ぜよ！

勞働者農民並に音樂愛好家諸君

昨冬十二月吾が音樂新聞創刊號が發刊されて以來、吾々は全國の兄弟達の嵐の樣な激勵と絕大の期待とを受けて來た。吾々は勇躍して音新の擴大充實を諸君の前に誓つて來たのだ、內地全國は勿論、滿鮮各地方から毎日の樣に寄せられる熱心な投書通信により全般的にプロレタリヤ音樂に對する要求と關心とが如何に昂まりつゝあるかを吾々は理解してゐる。と共に、特に現在の樣な社會狀勢の下に於て吾々の仕事が充分に遂行されるためには如何に多くの困難と闘はねばならぬかをよく諸君に理解して貰はねばならない！發禁押收等による奴等の攻擊は今後益々猛威を逞ふするだらふ。奴等は音樂の持つ武器としての最も端的な特色を識つて居る。一方滿洲行進曲とか爆彈三勇士とか云ふファシズム音樂に依つて戰爭宣傳をオサ〳〵怠らないと同時に、吾々の仕事は未だ力の弱い若芽のうちにもぎとつて了はふといふのだ！俺達は之等の暴力に對して飽く迄戰ひ拔かねばならぬと同時に、正しいプロレタリヤ音樂を全線的に大衆の中に植えつける唯一の使者としての音樂新聞の使命を明らかにし、大衆の力を以て積極的に守り育てなければならない！そしてそれを爲し得るものは諸君！諸君の結束による大衆的支持に俟つ以外に方法はないのだ！

★現在の音新直接讀者は必ず一人の新讀者を獲得せよ！

★全讀者は音新擴大宣傳に精力的に參加しろ！

★バット一個を音新基金に！

★仲間を勸誘し合ふことにより一錢二錢を纏めて音新基金に！

★音樂新聞財政確立强化萬歲！

★勞働者農民の唯一の音樂新聞を守れ！

應募者名

一、	金三圓也	露木　保乃
一、	金二圓也	清高　康一
一、	金一圓也	汀藤　新
一、	金二十錢也	平野　清次
一、	金五十錢也	柴田　幸一
一、	金四十錢也	山田　米三

送り先　東京市外上戸塚七四三
音樂新聞經營部

プロ記念日を大衆行動で！

革反、幹反の擴大强化萬歲！

P・Mの旗の下に！

文化聯盟の旗の下に！

（編輯局）　片山銳一君の投稿は音新では始めての非常に好いものだ、大衆黨のダラ幹どもが闘爭歌を如何にまげて、勞働者農民大衆の闘心を正しい方向からそらさんとしてゐるか、具體的な實例で示してゐる。實例であるからなほ良いのだ、闘爭歌Aよでも奴らが反動御用振りをどんなに演じてゐるかが良くわかる、たゞ最後の方の樂壇云々のところはこれだけでは前後の意味が不明瞭である。吾々はから云つたダラ幹どもの不屈至極な行爲はビシ〳〵やつゝけてゆかなければならない、また音新編輯局はから云ふ風な諸君の職場で日常におこつてゐる種々な事件、問題の投稿をドン〳〵送つて呉れる事を希望する、すべての讀者は音新の勞農通信員になれ。

正しいプロレタリヤ音樂の樹立へ！

厚地正巳

俺は或る官廳に働いてゐるインテリだ。俺達はもはやブルヂョア文化の欺瞞性と頽廢性に對して我慢しては居られない。ブルヂョア階級はあらゆる文化機關を占有し彼等を繞る利潤層の一部と共に廣汎なる大衆の階級意識の目覺めの抑壓の道具となし高まり行く階級闘爭の波からそらさんとしてゐる。

かゝる時あらゆるブルジョア文化に對抗して日本プロレタリヤ文化聯盟の結成は重大な意義を有するものだ。

政治經濟に於ける斯うした大衆の革命的昂揚に對して未だ音樂文化の階級的大衆化は立遲れの觀がありはしないか。

音樂が如何に大衆の青年女性層の感情をアピールし感興をそゝるかを思へば、それがブル音樂家達の意識的反動の武器としてのみ獨占されてゐる現狀をみて憤慨に堪へないのだ。街道を歩くとき樂器店で奏でる流行歌の雜多なるメロデイーが頭をガン〳〵させる！

そこには現實生活の反映を歌つた唄の一つだつてきかれはしない古賀政男作曲のセンチメンタリズムや或は西條八十その他の雜多な小ブル作詞家・曲家共にいつ迄も音樂の領域を專有させて置くことは出來ない。

近頃滿洲行進曲とかいふ帝國主義戰爭の謳歌を作つて大衆に盛んに戰爭熱を煽つてゐるが、俺達はかゝる反動連中に對するカシヤクなき闘爭と共に大衆の眞の生活感情意思を歌つたプロレタリヤ音樂の樹立と發展を階級闘爭の一翼として促進させなければならないと思ふ。

では紙代半年分三十五錢切手代用で同封して置いたから左記住所宛送つて戴きたい。（朝鮮京城）

（編輯局）　たしかに君の云ふ通りだ、だがたゞ憤慨してゐても仕樣がない、勿論奴らに何時までも音樂の領域を占有させて置くことも出來ない。そして君の云つてる樣な反動音樂との闘爭や眞のプロレタリア音樂の樹立を階級闘爭の一翼として日本プロレタリア音樂家同盟が現在活躍してゐる。一人で憤慨せずに進んでさう云つた仕事にとりかかり給へ。音樂家同盟へ參加し給へ。

音新への希望

加佐間外治

俺も音新の讀者になつたのだから一つ音新に對して希望を述べさして貰ふ。

一、ブルジョア御用作曲家の作つた歌を拜借して我々のプロ歌をうたふと云ふことはブルジョアジーに屈服した樣な氣がしていけないと思ふ。

一、此の頃は何處へ行つても帝國主義的軍歌が流行してゐるが我々プロ階級はこれに對抗出來るべき最も闘爭的な歌と譜をのせて欲しい。

一、通信をのせるのも良いが大體一頁くらゐにして他は全部歌と譜をのせてほしい。（福井縣）

（編輯局）　替うたに就いては二號の誌上に簡單に書いてあるが色んな意見があると思ふ。音樂でも讀者諸君の希望をなるべく入れて行きたいと思ふが歌と譜ばかりのせることも出來ない、出來るだけ澤山、最も適切なものをどし〳〵のせる。どんなのが好いか、具體的な希望意見を編輯局へ送つて呉れ。

左翼劇場メーデー準備公演

四月5日——25日　土・日マチネー　ヒル一時ヨル六時

村山知義作
『志村夏江』

左翼劇場文藝部作
『生きた新聞』メーデー特輯號

志村夏江は貧農の家に育つた・貧農の生活は日々苦しくなる『東京へ出て働きほんの少しの金でも家へ送る事で家の生活を助けやう』そして工場に這入る・だが勞働者の生活は貧農と同じだ・これをよくする爲には？そうだ・組合へ這入らう・だがこの組合で・夏江を取卷くものは・全勞・總同盟・解黨派・全協日本金屬のオルグ！眞實に勞働者農民の生活をよくするものは？

■の芝居を見ろ！

入場料　一般　一・〇〇
學生　八〇
勞働者　三〇